

諏訪交響楽団歴史資料保全活用事業

申請内容

社団法人諏訪交響楽団（下諏訪町発祥）は、創立90周年を迎え、日本で最も古い歴史を持つ社会人オーケストラとして知られており、今までの活動実績は諏訪地域だけに留まらず、全国的に評価をされ、多くの実績を残している。

しかし、写真や音源といった貴重な文化的資料は記録媒体の経年劣化等により、今後の伝承が困難となることから、昨年度から今年度にかけてデジタルアーカイブ化を実施し、下諏訪町の地域文化としての歴史を後世に伝えるべく、歴史資料保全活用事業を推進する。

年間を通じて町内等において成果発表を実施するほか、デジタルデータ等の成果物は町の公共施設等に寄贈をし、いつでもだれでも利用ができるよう整備することで、町民の音楽的、文化的生活を、一層豊かにする。

実施内容

昨年度は主要資料約1200点をアーカイブ化したが、事業の中で新たに貴重な資料が発見されたことにより、単年度で全てを集約することはできなかった。そのため、昨年・今年と2部に分けることで膨大な資料を引き続き、アーカイブ化するとともに事業成果の公開・発表、データの公開と専門機関への寄贈といった3つの目標に向け作業した。

本年度は、新たに発見された写真や録音記録、ポスターなどを追加でデジタル化した。また資料の原本となる紙媒体での資料を保存するため、中性紙箱による保存を行うほか、文書目録を作成することで、膨大な資料を整理することが出来た。この総目録の作成により資料の確実な保存ができるようになった。また個人的に所有しているものについても目録に加えており、永年保存できるようにしている。

事業成果の公開・発表と言うことで文化センターと博物館で2回開催することができ、それぞれの新聞報道等について掲載していただいた。また音楽の専門誌において、4回に分けて掲載特集をしていただけた。

今後はデータの公開と専門機関への寄贈ということで、CD・DVDと総目録等を町の図書館や日本近代音楽館へ寄贈していく。